

広域機関システム関中フェンスの作業時運用容量管理機能改良ほかに
 関する業務委託について
 (案)

広域機関システムの関中フェンスの作業時運用容量管理機能改良、需給ひっ迫融通マージン使用時の機能改良及び作業停止計画管理機能に関するシステム改修について、基本設計から現地 S I までの開発業務を委託する。

本件の委託にあたっては、電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約に基づき、下表に示す件名にて別紙 1 のとおり注文書を発行し個別契約を締結する。

表 契約概要

件名	広域機関システム 関中フェンスの作業時運用容量管理機能改良 (基本設計～SI) に関する業務委託
目的	2020年度第3回運用容量検討会にて再エネ電気の最大限活用のため関西中国間連系線(関西向)の運用容量増加に関する方針が示され2021年度から運用に入っている。2021年度の運用を通してシステム改修の方針が確定したことから基本設計～SIを実施する。
委託内容	基本設計、詳細設計、プログラミング、試験(単体・結合・総合・品質保証)、立会試験、現地SI
委託先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2022年12月23日
契約形態	委託(請負)
件名	広域機関システム 需給ひっ迫融通マージン使用時の機能改良(基本設計～SI)の開発業務委託
目的	現在、需給ひっ迫融通においてマージンを使用する場合に、広域機関当直による手動操作を要する業務等、迅速な融通指示業務を阻害する事象が確認されている。2021年2月の全国的な需給ひっ迫を受けシステム改修の方針を確定したことから、本委託にて基本設計～SIを実施する。
委託内容	基本設計、詳細設計、プログラミング、試験(単体・結合・総合・品質保証)、立会試験、現地SI
委託先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2022年12月23日
契約形態	委託(請負)

件名	広域機関システム作業停止計画機能改良（2022年度）に関する業務委託
目的	各エリア一般送配電事業者との作業停止計画業務において、広域受付（承認）番号の拡張対策や処理性能改善、計画受付機能の改善等が必要になったことから重要性の高い項目について機能改良を実施する。
委託内容	要件定義、基本設計、詳細設計、プログラミング、試験（単体・結合・総合・品質保証）、立会試験、現地S I
委託先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日 ～ 2022年10月31日
契約形態	委託（請負）

以上

【添付資料】

- 別紙1-1-1：注文書「関中フェンスの作業時運用容量管理機能改良（基本設計～SI）に関する業務委託」
- 別紙1-1-2：システム仕様書「関中フェンスの作業時運用容量管理機能変更改良（基本設計～SI）に関する業務委託」
- 別紙1-2-1：注文書「需給ひっ迫融通マージン使用時の機能改良（基本設計～SI）の開発業務委託」
- 別紙1-2-2：システム仕様書「需給ひっ迫融通マージン使用時の機能改良（基本設計～SI）の開発業務委託」
- 別紙1-3-1：注文書「作業停止計画機能改良（2022年度）に関する業務委託」
- 別紙1-3-2：システム仕様書「作業停止計画機能改良（2022年度）に関する業務委託」
- 別紙2：広域機関システム関中フェンスの作業時運用容量管理機能改良ほかに
関する業務委託について（補足説明資料）
- 別紙3：価格検討書「広域機関システム関中フェンスの作業時運用容量管理機能改良ほかに
関する業務委託について」

別紙1-1-1～1-3-2は会計・調達業務の細則に関する規程第23条の規定に基づき非公表とする。

別紙3は情報管理規程第4条（情報の格付の区分）の規定に基づき非公表とする。